

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 国語表現

教科：国語 科目：国語表現 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 A組～ F組
 教科担当者：（A組：古屋）（B組：古屋）（C組：古屋）（D組：榎本）（E組：榎本）（F組：榎本）
 使用教科書：（大修館書店 国語表現、大修館書店 国語表現 基礎練習ノート）
 教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 国語表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを使い分けている。	自分の考えが読み手に明確に伝わるように、表現や構成を工夫して書いたり話したりしている。また、様々な題材の小論文に取り組むことで、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりしようとしている。また、言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めようとしている。さらに、現代社会に関わる話題や問題に幅広く関心をもち、社会人として、考えやものの見方を豊かにしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書・読					
言葉と表記 【知識及び技能】 1イ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)ウ、エ	・自分の考えを正しい言葉遣い、表記で言語化する。		○	【知識・技能】 仮名遣いや送り仮名といった表記のきまりを理解し、それらを適切に用いることができる。(1)イ 【思考・判断・表現】 他者の文章を表記のきまりに照らし合わせて添削し、その問題点の抽出と改善を行うことができる。 B(1)ウ、エ 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の考えを、表記のきまりをまもつたうえで積極的に言語化しようとしている。	○	○	○	4
整った文を書く 【知識及び技能】 1イ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)ウ、エ	・文のねじれ、文体の不一致に注意しながら、自分の考えを言語化する。		○	【知識・技能】 文のねじれ、文体の不一致など問題点とその改善方法を理解し、間違いを直すことができる。(1)イ 【思考・判断・表現】 文のねじれや文体の不一致に注意をしながら、自分の考えが相手に伝わるような整った文を書いている。 B(1)ウ、エ 【主体的に学習に取り組む態度】 文のねじれや文体の不一致に注意を払いながら、積極的に自身の考えを言語化しようとしている。	○	○	○	4
相手に応じた言葉遣い 【知識及び技能】 1イ 【思考力、判断力、表現力等】 A(1)ウ、エ B(1)ウ、エ	・状況や場面に応じた言葉遣いを理解し、使い分ける。	○	○	【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の違いを理解し、状況に応じてそれらを使い分けことができる。 【思考・判断・表現】 敬語の種類を理解し、それらを使い分けことができる。(1)イ 【思考・判断・表現】 「書くこと」と「話すこと」の違いを踏まえたうえで、他者に対して自身の考えを伝えるときに効果的な語法、語の構成を考える。A(1)ウ、エ 相手や立場に応じて敬語を使い分けながら、自身の考えが伝わるように、文章表現や展開を工夫する。B(1)ウ、エ 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の考えが相手に伝わるように、話し方や語の構成、展開について進んで改善に努めようとしている。	○	○	○	4
わかりやすい文を書く 【知識及び技能】 1イ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)ウ、エ	読み手に意図が正確に伝わるように、長文を短文に書き換える。 ・読点を効果的に使い、読みやすい文章を作成する。		○	【知識・技能】 読点の効果的な使い方を理解する。(1)イ 【思考・判断・表現】 読み手にとってわかりやすい文章を書くために、文の長さや読点の効果的な使い方を考える。 B(1)ウ、エ 【主体的に学習に取り組む態度】 読み手の立場になって文章の構成や展開、表現を考えようとする。	○	○	○	4
文のつなぎ方 【知識及び技能】 1イ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)ウ、エ	・読みやすい長文の作成を目指して、文と文を適切につなぐ接続表現の役割を理解し、それらを使い分ける。		○	【知識・技能】 接続詞の種類と働きを理解し、文脈に応じて適切に使い分けことができる。(1)イ 【思考・判断・表現】 読み手にとってわかりやすい文章を書くために、文の長さや読点の効果的な使い方を考える。 B(1)ウ、エ 【主体的に学習に取り組む態度】 読み手の立場になって文章の構成や展開、表現を考えようとする。	○	○	○	4
・実践トレーニング① 【知識及び技能】 1イ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)ウ、エ	・1学期の学習を通して学んだ表記のきまり等を踏まえて、意見文を書くとともに相互で添削を行う。		○	【知識・技能】 一学期で学習した表記の事項を振り返り、適切に用いることができる。(1)イ 【思考・判断・表現】 自身の考えを相手にわかりやすく伝えるために、表記や構成、展開に工夫を凝らす。B(1)ウ、エ 【主体的に学習に取り組む態度】 対立する意見を受け止めたりして、いかにして自身の考えを相手にわかりやすく伝えようとしている。	○	○	○	4
小論文とは何か 【知識及び技能】 1イ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)イ、ウ、エ	・小論文とは何かを理解し、構成を意識して文章を書く。		○	【知識・技能】 ・小論文を書く上での基本的な構成を理解し、実際の文章作成において活用している。(1)イ 【思考・判断・表現】 題材に対して、理由を明確にして筋道を立てながら小論文を書く。B(1)イ、ウ、エ 【主体的に学習に取り組む態度】 提示された題材に対して、自身の考えを筋道立てて言語化しようとしている。	○	○	○	3

2 学 期	反論を想定して書く 【知識及び技能】 1)エ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)イ、ウ、エ	・対立する立場を想定して、文章を書く。		○	○	○	○	○	4
	文章を読み取って書く 【知識及び技能】 1)エ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)イ、ウ、エ	・他者の文章を読み取り、その内容に対して意見を書く。		○	○		○	○	5
	統計資料を読みとって書く 【知識及び技能】 1)エ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)イ、ウ、エ	・統計資料を読み取り、それを踏まえて自分の意見をまとめる。		○	○		○	○	5
	発想を広げて書く 【知識及び技能】 1)エ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)ア、ウ、エ	・小論文を書くための思考法を理解し、それを活用して課題文を書く。		○			○	○	4
	レポートを書く 【知識及び技能】 1)エ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)ア、ウ、エ	・レポートの基本的な書き方を理解し、レポートを作成する。		○			○	○	5
3 学 期	論文を書くために・小論文を書くために 【知識及び技能】 1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)イ、ウ、エ	・論文を執筆するためのポイントを理解し、アウトラインを作成する。 ・提示された題材を基に、小論文を書く。		○			○	○	7
	小論文課題 【知識及び技能】 1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)イ、ウ、エ	1年間の学習事項を踏まえたうえで、社会問題に対して自身の意見を文章に起こすとともに、その内容・表記に関して相互に添削を行う。		○			○	○	8
合計									65